



## 冬期間の登下校について

昨年は冬になっても雪がほとんど降りませんでしたが、1月のなかばあたりから本格的な冬がやってきました。これまでも登下校で歩いてきた道も、降り積もった雪や除雪されたものが道の端に寄せられ、様変わりしています。特に歩道のないところは、狭くなった車道を通るしかありませんので、学校や地域の方、父兄の方のご協力で、子どもたちの安全を確保して行きましょう。しかしながら、子どもたち自身にも交通マナーが必要です。実際の通学路と一緒に歩いて、教えてあげてください。

### 《雪道を安全に歩くポイント》

◎道路はすべりやすいので注意しよう！

- ・冬の道は凍っていたり、シャーベット状だったり、滑りやすくなっています。マンホールのフタや横断歩道などの塗装されているところもすべりやすくなっているので注意しましょう。

◎前をよく見て！

- ・寒いからといって、ポケットに手を入れたままや体を丸めて下を見ながらの歩行は危険です。まっすぐ前を向いて歩きましょう。
- ・道幅がせまくなっていますので、登下校時は道に広がらないようにしましょう。



◎危険なところには近づかない！

- ・車が走る道路や歩道では、遊んだりふざけたりしない。
- ・上にも注意が必要です。特に、屋根からの落雪には注意が必要で、晴れた日は、いききに雪が落ちてきます。
- ・除雪中の機械には、危ないので近づかないようにしましょう。



見守り隊の腕章は、見守り活動をする際はもちろんですが、授業参観等の学校行事や、学年行事の時にも着けていただくようお願いいたします。多くの方が腕章を着けることで、地域における監視の目が増えることにつながり、不審者の近寄りにくい地域作りにつながります。